

令和6年度『在宅人工呼吸器に関する講習会』eラーニング プログラム

eラーニング開講期間 令和7年2月1日(土)10時～3月14日(金)17時

| 科目等 | 分 (目安) | 講 師 |
|---|-----------|--|
| I.在宅人工呼吸療法(HMV)の医学的側面 | | |
| 1.在宅人工呼吸療法 -わが国の現状と呼吸器疾患に対する 在宅人工呼吸をどう考えるか- (開講挨拶を含む) | 40 | 八尾徳洲会総合病院 副院長 石原 英樹 |
| 2.呼吸器疾患、その他のHMV -特に非侵襲的人工換気法について- | 80 | 国立病院機構 東京都病院 名誉院長 坪井 知正 |
| 3.小児のHMV | 80 | 国立病院機構 北海道医療センター 神経筋/成育センター長 石川 悠加 |
| II. HMV療養者の支援の実際 | | |
| 4.ALS患者に対する在宅人工呼吸療法 | 80 | 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 脳卒中・脳神経センター 顧問 相澤東病院 診療部部長 近藤 清彦 |
| 5.HMV療養者の立場から | 30 | 【療養者家族】 日本ALS協会 東京都支部事務局長 東京都難病ピア相談室 ピア相談員(ALS担当) 青木 良浩 |
| 6.HMV療養者への訪問看護 -生命・生活を支える視点とリスク管理- | 50 | 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター 難病ケア看護ユニット ユニットリーダー 副参事研究員 中山 優季 |
| ハンズオン関連資料のご紹介(※受講は任意です。) | — | (協力:日本医療機器工業会 在宅人工呼吸小委員会) |
| アンケート | — | (医療機器センター) |

令和6年度『在宅人工呼吸器に関する講習会』プログラム

| 科目等 | 時間 | 分 | 講師 |
|--|-------------|------|---|
| 開場及び受付 | 9:00~9:30 | (30) | |
| 開会の辞(オリエンテーション含む) | 9:30~9:35 | 5 | |
| I.在宅人工呼吸療法(HMV)の医学的側面 | | 座長 | 八尾徳洲会総合病院 |
| 在宅人工呼吸 一わが国の現状と呼吸器疾患に対する 在宅人工呼吸をどう考えるかー | 9:35~10:10 | 35 | 副院長 石原 英樹 |
| 呼吸器疾患、その他のHMV 特に非侵襲的人工換気法について | 10:10~11:05 | 55 | 国立病院機構 京都府病院 名誉院長 坪井 知正 |
| 小児のHMV | 11:05~11:55 | 50 | 国立病院機構 北海道医療センター 神経筋/成育センター長 石川 悠加 |
| 休憩(昼休み) | 11:55~12:45 | 50 | |
| II. HMV療養者の支援の実際 | | 座長 | 国立病院機構 京都府病院 名誉院長 坪井 知正 |
| ALS患者に対する在宅人工呼吸療法 | 12:45~13:40 | 55 | 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 脳卒中・脳神経センター 顧問 相澤東病院 診療部部長 近藤 清彦 |
| HMV療養者の立場から | 13:40~14:00 | 20 | 【療養者家族】 日本ALS協会 東京都支部事務局長 東京都難病ピア相談室 ピア相談員(ALS担当) 青木 良浩 |
| HMV療養者への訪問看護 一生命・生活を支える視点とリスク管理一 | 14:00~14:45 | 45 | 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター 難病ケア看護ユニット ユニットリーダー 副参事研究員 中山 優季 |
| 休憩 | 14:45~14:55 | (10) | |
| 講師陣とのQ&Aタイム | 14:55~15:35 | 40 | 司会: 八尾徳洲会総合病院 副院長 石原 英樹 |
| ハンズオンオリエンテーション(移動含む) | 15:35~15:45 | 10 | 医療機器センター |
| 《ハンズオン》※自由参加 1.NPPV人工呼吸器 2.TPPV人工呼吸器 3.MI-E 4.HFNC 構造・使用法・保守点検等 (パルスオキシメータは、各人工呼吸器実習場所に付設) | 15:45~18:00 | 135 | 日本医療機器工業会 在宅人工呼吸小委員会 *重度障害者用意思伝達装置の紹介 NPO法人 ICT 救助隊 |
| 閉会の辞 | 18:00~18:05 | 5 | |

※講義の順番及び講師について変更になる場合があります。